

視点②(テーマ・カテゴリ分類): 地域行事・イベント		
<p>(創生会議委員意見)</p> <p>(市民委員会委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の担い手不足(人がいる地区でも) ・花火大会の中止がマイナス 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら積極的に参加する <p>(地域の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長や組長がもっと区ごとにPRする必要がある <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事などの紹介やアピールを強化 ・市内のサークル活動等を積極的に紹介し転入者と元々いる人でコミュニケーションを図り定住に結び付ける 	<p>(創生会議意見)</p> <p>(市民委員会意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市主催でなくても他の団体が実施する大きなイベントがあればマスコミ等に市をPRする機会ができる
視点③(テーマ・カテゴリ分類): 地域団体等の活動		
<p>(創生会議委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体、NPO、ボランティアに対する行政側のサポート体制の不足 ・まちづくりにおける行政のコーディネート機能が不十分 ・地域のコラボレーションを実現するためのリーダー的存在が欠落 ・地域の諸団体が自治体の枠を超えて他の自治体や地域の住民・諸団体と積極的な交流が図れていない ・地域の諸団体が縦割り化していて、地域に開かれた雰囲気醸成されない 	<p>(住民の取組)</p> <p>(行政の取組)</p>	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>

視点④(テーマ・カテゴリ分類):自治会(区)関係

<p>(創生会議委員の意見)</p> <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長との関係性の希薄 ・住民が自治会の活動をよく知らない ・地域のことがよく分からない ・自治会に入るメリットが分からない 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社にいる地元の人に話を聞く ・市役所やネットで情報を集める <p>(地域の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3カ月に一度、区長と住民で会合を持つ ・自治会同士の横のつながりを展開し、コミュニティを広げる ・掲示板を街中に設置する ・地域活動に参加したがない人に対し、参加意欲を増加させる。 →入ってきた人を巻き込む環境づくり ・孤立した環境でも住みやすい環境作り ・自治会の役割やメリットがわかるマニュアル作り <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の活動を紹介する ・自治会の情報をさらに入手する ・広報以外で、新聞などに広告を載せる(民間も) ・自治会によって活動がまちまちなので、ある程度の指針を作る ・もっと気楽に自治会の行事に参加できる仕組みを作る(ライト会員) 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>
---	--	---------------------------------------

視点⑤(テーマ・カテゴリ分類):ごみ関係		
<p>(創生会議委員の意見)</p> <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別ができていない →そのまま捨てられて放置されるケースが多い 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物ごとに細かく分けて各人で出すようにさせる <p>(住民の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民でお互いにごみ出しの注意ができるようにする ・日々チェックし、地域全体でも考える <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別荘の人にもごみ袋を購入するようにさせる ・市もごみステーションの管理・点検に協力する ・回収不可のごみを徹底的に周知 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>
視点⑥(テーマ・カテゴリ分類):インフラ関係		
<p>(創生会議委員の意見)</p> <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクアラインをさらに活用する必要がある ・交通の利便性に問題がある ・自由に使用できる公的なものが少ない 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各人がアクアラインを観光用に更に使う ・使用できる公的施設の把握 <p>(地域の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所を中心とした公共施設の共有 <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の都県にアクアラインによる利便性さらなるPR ・公共施設を積極的にお知らせする ・交通網やライフラインの強化 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>

視点⑦(テーマ・カテゴリ分類): シティプロモーションの推進		
(創生会議委員の意見)	(個人の取組) ・友人に観光名所を紹介する	(創生会議の意見)
(市民委員会委員の意見) ・市の知名度が低い	(行政の取組) 知名度を上げる施策の実施	(市民委員会の意見)

■意見整理シート

分科会テーマ：住環境 ～くらしやすく、移住しやすい環境づくり～

創生会議委員・市民委員会委員の意見 (現状の課題等)	課題を解決する方法	参 考
視点①(テーマ・カテゴリ分類):交通の利便性		
<p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い 電車の利用者も君津駅や木更津駅を利用する。 快速電車やコインパーキングなど利便性が悪い。 ・不便だが、自然が多い。 ・羽鳥野バスストップは住宅地が接近しているので利用する。 ・働く人が利用しやすいところにバスストップを造る <p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が不足 人と交通の結節点や車が置ける場所、公共交通機関に乗り換えできる場所が市内各所がない ・高速バスストップの有効利用 	<p>(地域の取組)</p> <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス運行補助 ・人と交通の結節点や車が置ける場所、公共交通機関に乗り換えできる場所が市内各所につくる 	<p>(市民委員会の意見)</p> <p>(創生会議の意見)</p>

創生会議委員・市民委員会委員の意見 (現状の課題等)	課題を解決する方法	参 考
視点②(テーマ・カテゴリ分類): 就労の場が限られている		
(市民委員会の意見) ・仕事が無いと暮らしていけない ・就労の場が限られている (創生会議の意見)	(住民の取組) (行政の取組) ・企業誘致奨励金制度のリニューアル	(市民委員会の意見) (創生会議の意見)
視点③(テーマ・カテゴリ分類): 地元商店街が成り立たない		
(市民委員会委員の意見) ・商店街が成り立たない。 地元で買い物しない 郊外の道路沿いに集中する 大型モールまでの交通の便が悪い ・買い物に不自由している高齢者が多い ・店主の高齢化 (創生会議委員の意見) ・地元商店街に活力がない	(地域の取組) (行政の取組) ・富津市商工会補助 ・プレミアム商品券補助	(市民委員会の意見) ・ショッピングモールまでバスを走らせる (創生会議の意見)

創生会議委員・市民委員会委員の意見 (現状の課題等)	課題を解決する方法	参 考
視点④(テーマ・カテゴリ分類):道路整備が不十分		
(市民委員会委員の意見) (創生会議委員の意見) ・道路整備が不十分 狭く、わかりづらい	(地域の取組) (行政の取組) ・市道新設、改良工事	(市民委員会の意見) (創生会議の意見)

創生会議委員・市民委員会委員の意見 (現状の課題等)	課題を解決する方法	参 考
視点⑤(テーマ・カテゴリ分類):若年層向け住宅整備		
<p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らしの体験ができない <p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が住みたくなくなるような住宅やアパートが少ない 	<p>(地域の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を使って、田舎暮らし体験実施 <p>(行政の取組)</p>	<p>(市民委員会の意見)</p> <p>(創生会議の意見)</p>
<p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京方面から同じ距離の神奈川県に比べ、かなり住みやすい。 <p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京、横浜等に通勤通学する人の利便性が低い ベッドタウンとなるような施策 	<p>(地域の取組)</p> <p>(行政の取組)</p>	<p>(市民委員会の意見)</p> <p>(創生会議の意見)</p>

創生会議委員・市民委員会委員の意見 (現状の課題等)	課題を解決する方法	参 考
視点⑥(テーマ・カテゴリ分類): 居住環境		
<p>(創生会議委員の意見)</p> <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下水道処理がされていない ○公共施設について <ul style="list-style-type: none"> ・有効活用されていない感がある ・図書館がない ○ゴミの処分について <ul style="list-style-type: none"> ・ステーションの数や利用ルールが曖昧である ・不法投棄が減っているのか ○豊かな自然を生かしきれていない ○公園の利用者が少ない 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別を今以上に努力する <p>(地域の取組)</p> <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口密集地は下水道整備、その他地域は浄化槽設置を義務化(猶予つきで)する ・空きスペースの有効活用(もっと市民に開放すべき) ・分別、減量のアピールをする ・分別とは別にごみ出しのルールを決める ・不法投棄監視員 ・定住策、豊かな富津の自然をPRする ・農地を都会人に開放して農業従事の推進策を考える ・子どもの遊び場、街路公園などの整備 ・公園を周知する 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の豊かさを生かし、環境にやさしい街づくりを目指す ・ゾーンに分けて、それぞれにあった街づくりを進める

創生会議委員・市民委員会委員の意見 (現状の課題等)	課題を解決する方法	参 考
(市民委員会委員の意見) ・アピールが不足している ・住みたいと思ってもらうには、先ずは知ってもらう。 (創生会議委員の意見)	(地域の取組) (行政の取組) ・市ホームページの公開 ・観光大使の活用	(市民委員会の意見) (創生会議の意見)
(市民委員会委員の意見) (創生会議委員の意見) ・鉄道終点＝通勤圏の終わりを意味する 君津以南は居住候補にならない	(地域の取組) (行政の取組)	(市民委員会の意見) (創生会議の意見)

視点③(テーマ・カテゴリ分類):住環境

<p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりにおける行政のコーディネート機能が不十分 ・若い世代にとっての魅力若くは若い世代が直接発信する機会が少ない ・市内でも地域特性が違う。各地域にあったまちづくりを考える必要がある ・企業がまちづくりに対する意識が弱い ・まちづくりの基盤を個人が担えるという意識の欠落 ・地元生まれ地元育ちの人が、地場の魅力に気づいていない ・空き家情報や富津の魅力の発信など受け入れ体制が不十分 ・空き家所有者と借り手等のマッチングが行えていない ・若い人が住みたいような住宅・アパートが少ない ・公共交通機関の圧倒的な不足、道路整備が不十分 ・東京、横浜等に通勤・通学する人の利便性が低い(ベッドタウンとしての機能) ・転入者への補助がない ・移住定住支援の情報不足 <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の既婚者が市外に出てしまっている ・住みやすくなれば、転出に歯止めは効くはず ・市の強みが不明確 ・市外の人の認知の少なさ ・いろいろな人が来る場所にPRできるものを ・移住希望者に対して富津市の良さをPRできてるか ・ベッドタウンとなるような施策が必要 ・財源不足がマイナスイメージとなり、魅力が富津市には感じられないのではないか 	<p>(住民の取組)</p> <p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市に足りない部分を行政に提案する ・自然のある所、便利な所の両方を兼ねているところが良いが、考え方をえ、その場所が良いと思う人が住むようにする ・結婚を機に転出する現状を憂える ・海、山、田んぼの魅力を生かせないか考える <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の良い所を、その地域でPRする ・特産品の売り場・立ち寄り所の開設 ・住み良い環境づくりで、転出に歯止め ・移住者の受入れ ・地元の人たちや移住した人たちがやっている活動をPRして興味がある人が参加できる地域づくり(プチツアーなど) <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページなどで、幅広く伝える ・魅力ある市として発想する ・転出先との違いを確認する ・富津市を大きく、自然地区、市街地区と区域を分け住民の希望が叶うまちづくり ・観光バス等の民間への情報提供 ・市内観光地の情報提供 ・民間のやり方を学ぶ・前例からの発想を転換する ・空き家の活用 ・予算をかけずにできる手段 ・富津市のいい所カレンダーをきちんと作る ・移住したい人に対し親身になって相談に乗る担当を設置する <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光で市を訪れることで、市を知ってもらい、選択肢の一つにしてもらう 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>
--	--	------------------------------------

視点④(テーマ・カテゴリ分類):人口ビジョン

<p>(創生会議委員の意見)</p> <p>(市民委員会委員の意見) 5,000人という目標は適切か 人口展望の条件1の具体案が無さ過ぎる 条件2の市の強みについて自然を生かした具 体的な施策が無く、努力を感じられない 2040年に35,420人ではなく30.769人でよく、3万 人でできる行政を考えるべき 数字上の展望は必要ない 若年層が少ない、出生率が低い</p>	<p>(住民の取組)</p> <p>(行政の取組) リッチなリタイア組を受け入れ、子どもや孫が市を訪れ ることにより富津の魅力を体験させる。</p> <p>若年層の増加、出生率を上げる</p>	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>
--	--	---

視点③(テーマ・カテゴリ分類): 産業		
<p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の付加価値が低い ・地場産業を多角的に作り出すための異業種や市民活動団体との交流不十分 <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業、農業従事者の高齢化 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢でもできる仕事(小さな畑づくり・貝むき)への従事 <p>(住民の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源への付加価値を高める ・会社(直売所や地元店)へ徒歩で通勤できる環境づくり <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化の手伝い ・半農半Xによる起業支援 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>
視点④(テーマ・カテゴリ分類): 交通		
<p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭い ・公共交通機関の不足 ・東京、横浜等へ通勤・通学する人の利便性が低い <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通網が不便 <ul style="list-style-type: none"> －JRが単線(1時間に1本) －高速道路は片側1車線 	<p>(住民の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速バスストップの有効活用 <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・君津以南の交通の便をよくする取組みを行う 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRについては個人ではどうにもならない
視点⑤(テーマ・カテゴリ分類): 結婚		
<p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談窓口が不十分 ・結婚、出産に対する支援が不足 <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市と比べて未婚率が高い 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚、出産に踏み切るだけの収入のある職を確保する <p>(住民の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚、出産に対する支援を強化する <p>(行政の取組)</p>	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>

視点⑦(テーマ・カテゴリ分類): 空き家対策		
(創生会議委員の意見) (市民委員会委員の意見) ・旧富津地区の空き家	(住民の取組) ・空き家を把握する ・防災のためにも話し合いの場をもつ (行政の取組) ・倒壊の恐れのある危険な空き家は撤去する	(創生会議の意見) (市民委員会の意見)
視点⑧(テーマ・カテゴリ分類): 環境		
(創生会議委員の意見) (市民委員会委員の意見) ・国道127号線沿いの美化	(住民の取組) ・町内から町の境まで美化運動を行う (行政の取組)	(創生会議の意見) (市民委員会の意見) ・君津市、鋸南町の127号線沿いについて、雑草が多く、とても人が住むようなところではない ・富津に入ったら雑草が何もなくてきれいであつたらなと思われる ・国道を管轄する国交省の動きは待てない

視点⑨(テーマ・カテゴリ分類): シティプロモーション		
<p>(創生会議委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内観光施設の「点」ではなく「面」としてのPR ・特産品、観光、環境、不動産など全体的にPR不足であり、富津市としてのイメージが薄い <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市でどんな行事が行われているのかわからない ・市の特徴が活かしきれていない 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページをしてみる ・ボランティア、協賛などで行事に参加 <p>(地域の取組)</p> <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントスケジュールの作成、宣伝 ・イベント参加者(一般・企業)の募集 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p>
視点⑩(テーマ・カテゴリ分類): 人口減少(移住受入促進、定住化)		
<p>(創生会議委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住、定住者支援不足 ・空き家が活用されていない <p>(市民委員会委員の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少(もっと人を増やせないか) ・若年層の定住化が必要 ・若い人達が住みよい町づくりについて具体的な取組みがない 	<p>(個人の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元に住んでいる人間として、富津のよいところ、場所を他県からきた人達に教える ・地域の人達とのコミュニケーション、つながりをサポートする ・他市に住んでいる家族を呼び寄せる ・働く場所の確保 ・配偶者の世話(結婚相手の紹介) ・地域への愛着をもつ <p>(住民の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用 <p>(行政の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家などをもっと貸し出せるようにする。 ・飲食や雑貨販売の店を始めたいという人に起業のチャンスを与え、そういう事を一から学べる場を用意する。 ・保育園(幼稚園)の充実 ・農地の宅地等への転用を積極的に進める ・保育料の減額 ・住宅ローン利用者への負担軽減策 	<p>(創生会議の意見)</p> <p>(市民委員会の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人でも買い物や交通の利便性より自然の豊かさや心の安らぎなどを求めている人もたくさんいる